

授業科目名		担当講師名		対象学年	
生物学		横田 伸一		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・校外学習	1 (30)	情報処理室	前期・後期		
実務経験	本科目は、獣医師として実務経験のある教員による講義				
学修内容	講義や自然観察により、人間を営む生命体を理解する。				
到達目標	人間をとりまく生命体を理解し、生命の営みを尊ぶことができる。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	生物学講義の概要 生命の起源
2	有機物の生成 高分子化合物の生成 代謝と自己増殖 光合成・細胞構造
3・4	生命体の構造 細胞と組織器官 生体維持のエネルギー (異化・同化)
5	生体維持のしくみ 消化
6	生体維持のしくみ 呼吸
7	生命維持のしくみ 循環
8	生命維持のしくみ まとめ
9・10・ 11・12	校外学習 住用マングローブ 自然観察 講義・観察
	干潟の生物 マングローブの生態
13	校外学習振り返り
14	講義全体まとめ
15	まとめ 終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	
成績評価の方法	筆記試験
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
情報科学 I		清水 則之		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (15)	教室 情報処理室	後期		
実務経験	本科目は、研究および ICT を教授している実務経験のある教員による講義				
学修内容	情報・情報検索・情報の取り扱い・ワード・表計算				
到達目標	情報科学の基礎を学び、保健領域における統計的な見方を身につけることができる。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1・2・3・4	情報の定義 情報化社会 コンピューターの歴史 保健医療と情報
5・6・7	情報社会と看護 医療における情報システム
8	終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統的看護学講座 別巻 看護情報学 医学書院 USB メモリー
成績評価の方法	筆記試験・技術
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
情報科学Ⅱ		三宅 昭江		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (30)	情報処理室	前期・後期		
実務経験	本科目は、研究および ICT を教授している実務経験のある教員による講義				
学修内容	情報・情報検索・情報の取り扱い・ワード・表計算				
到達目標	看護活動において情報を効果的に活用できるための方法を身に付けることができる。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1・2	ビジネス文書作成 (Word2013)
3・4	データの集計と分析 (Word2013) 1. Excel の基本操作
5・6	2. データベース機能、並べ替えと抽出
7・8	3. 集計と分析機能
9・10	4. グラフ作成
11・12	プレゼンテーション実習 (Power Point 2013) 1. Power Point の基本操作
13・14	2. 画面切替効果やアニメーション効果の活用
15	まとめ 終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統的看護学講座 別巻 看護情報学 医学書院 USB メモリー
成績評価の方法	筆記試験・技術
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
論理学		松下 尚明		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	2 (30)	教室	前期		
実務経験	本科目は、大学での非常勤講師としての実務経験のある教員が講義				
学修内容	論理的思考に関するさまざまなアプローチと技法を学ぶ。				
到達目標	看護師は日々、他者の考えを理解するとともに、自己表現力を高める必要がある。そのために「読み・書き・考え・表現する『論理的力と技法』を実践的に身につける。				
事前学習	①テキストの指定ページ（下記）を熟読し、小論を作成する。 ②ここでいう小論とは、テキストの要約ではない。そうではなくて、テキストを熟読し「触発されたこと、もしくは言葉」をもとに「自分で考えた」文章を書くことである。よって、テーマは自分で設定する。 ③必ず原稿用紙【少し集めの用紙、A4・横書き】1枚にまとめる。 ④提出時刻は、小論 1 本目・2 本目・3 本目ともに、講義開始日（早朝）である。				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	論理的思考への招待 ●小論 1 本目（テキスト p.3～p.60）提出【登校時】
2	論理的文章の構成法
3	六六討議の論理と技法
4	論理の美と伝達性
5	言語表現法のまとめ
6	提出小論の論理的相互検討
7	発想を磨く K J 法
8	K J 法の技法—演習 ●小論 2 本目（テキスト p.61～p.132）提出【登校時】
9	話し言葉の論理学 ●小論 3 本目（テキスト p.133～p.179）提出【登校時】
10	話し合いの論理学
11	クリティカルシンキング
12	発表【K J 法によって私たちの考えたこと】・講評・まとめ
13	プロの論理的世界・ベテランの日常世界
14	カンファレンスの論理的展開
15	終講試験（50 分）・生涯学習としての論理学
履修上の要件	小論作成に積極的に取り組むこと。これが履修の基本となる。
テキスト等	『南薩の地平にて』（松下尚明書・鹿児島学術文化出版）・・・【本書は授業の参考書、小論作成のテキストとなる】
成績評価の方法	筆記試験 50%・小論等提出物 30%・受講態度 20%を基準に総合評価する。
備考	論理学は頭で分かるとともに、実践的に体得する必要があること【訓練】に留意。 Just do it !
最終小論の提出	■小論 4 本目（テキスト p.183～p.214）提出【指定期日の登校時】

授業科目名		担当講師名		対象学年	
心理学		下木戸 隆司 森藤 悦子		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	2(30)	教室	前期		
実務経験	本科目は、大学での実務経験のある教員による講義				
学修内容	人間の心理と行動・自己理解・他者理解・自己開示・発達課題・対人関係構築				
到達目標	①人間の心理と行動の仕組みについて理解できる。 ②自己理解・他者理解を深め、人間理解へと繋げることができる。 ③人間関係成立（個・集団）の基本を理解し、効果的に関わる方法を学ぶ。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容		
1	第1・2章：感覚・知覚の心理 学習・記憶の心理		下 木 戸
2	第3章：感情・動機の心理 感情・情緒とは何か 動機・欲求とは何か フラストレーションとコンフリクト		
3	第4章：性格・知能の心理 パーソナリティーの障害 成熟知的機能 創造性		
4・5	第5章：発達の心理 乳幼児期・児童期・青年期・成人期・老年期		
6・7・8	第6章：社会・集団の心理 対人認知 社会的態度 社会的スキル 集団の心理		森 藤
9・10・11	第7章：カウンセリング理論（交流・分析） 患者理解（ストレス学説） 構成的グループエンカウンター 看護職者理解（バーンアウト他）		
12・13	第8章：心理アセスメント カウンセリングと心理療法 応答技法 カウンセリング実習（ロールプレイ）		
14	第9章：認知行動療法 精神分析 家族療法とシステムズアプローチ		
15	まとめ 終講試験		
履修上の要件			
テキスト、教材、 参考書	看護学生のための心理学 医学書院		
成績評価の方法	筆記試験 演習を通しての振り返りレポート		
備考			

授業科目名		担当講師名		対象学年	
倫理学		上山 敬補		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (15)	教室	後期		
実務経験	本科目は、大学での講師としての実務経験のある教員による講義				
学修内容	倫理的相対主義、理性、欲望、普遍的な愛、人格の尊重、功利性の原理、公正としての正義、潜在能力アプローチ				
到達目標	日本看護協会が定める「倫理要領」は、看護者が「人間の生命、尊厳および権利を尊重すること」や「国籍、人種・民族、宗教、信条、性別、経済状態に関わらず、人々に対して平等に看護を提供すること」などを求めている。哲学の歴史を学ぶことによって、「他者の普遍的な尊重」を含む道徳原理の意味を深く理解することができる。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	哲学における倫理学の位置づけ 実質的倫理学とメタ倫理学
2	「古代ギリシャ黄金時代」DVD 鑑賞 ソフィストと倫理的主観主義
3・4	保守的ソフィスト・共同体主義と人間の同調性 ソクラテスと民主的な議論の価値 急進ソフィストと利己的人間観の問題 「ヒューマンなぜ人間になれたのか」DVD 鑑賞
5・6	ソクラテスと民主主義 プラトンの人間観・他者尊重
7	功利主義と公衆衛生 費用便益分析 J. ロールズ 正義論 アマルティア・センにおける潜在能力アプローチ
8	終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、参考書	
成績評価の方法	筆記試験 レポート提出
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
文化人類学		朝沼 めぐみ		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (30)	教室	前期・後期		
実務経験	本科目は、大学での講師としての実務経験のある教員による講義				
学修内容	グローバル化、人間とは、環境、市、歴史、文化				
到達目標	多様な文化や生活様式を学び、人間理解を深める。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1・2・3	人間と文化 文化人類学とは 人間と文化について 質的研究とは エスノグラフィーとは フィールドバックとは
4	第3章：個人・家族・コミュニティー
5	奄美の歴史 奄美世
6	奄美の歴史 那覇世
7	奄美の歴史 大和世
8	奄美の伝統行事 奄美の島唄文化
9	奄美の自然環境について
10	第4章：人生と通過儀礼
11	第5章：宗教と世界観
12・13	第6章：健康・病気・医療 WHO 健康定義 医療の競合・共存
14	第7章：人間と死 医療人類学
15	まとめ 終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 基礎分野 文化人類学 医学書院
成績評価の方法	筆記試験
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
教育学		重野 裕美		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (30)	教室	前期・後期		
実務経験	本科目は、大学での教育や研究の実務経験のある教員による講義				
学修内容	教育の原理、教育の必要性				
到達目標	教育の原理を理解し、人間形成における教育の必要性を学ぶ				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	教育学とは何か コミュニケーションとしての教育
2	現代社会と教育
3	教育と学校の歴史
4	学校教育の制度
5	教育の理論と方法
6	教育とケア
7	教育と健康
8	教育の課題と対策①
9	教育の課題と対策②
10	特別ニーズ教育
11	医療とことば①
12	医療とことば②
13	医療とことば③
14	医療とことば④
15	まとめ 終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 基礎分野 教育学 医学書院
成績評価の方法	筆記試験
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
外国語 I		井上 真三基		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (30)	教室	前期・後期		
実務経験	本科目は、英検 1 級の資格を生かした通訳や翻訳の実務経験がある教員による講義				
学修内容	コミュニケーション能力を高める				
到達目標	国際性を高めながら、コミュニケーション能力を高める				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	Lesson1 ハンバーガーショップで 英語と日本語の文化的相違
2	Lesson2 Welcome Aboard 表音文字と表意文字
3	Lesson3 Halloween 前置詞
4	Lesson 4 Ainu 数の概念と世界観
5	Lesson 5 The United Kingdom 比較級
6	DVD 視聴 字幕なし 英語に慣れる
7	Lesson6 Gestures Talk 助動詞について
8	Lesson 7 Good for the Earth
9	中間試験
1 0	Lesson8 The Hot Dog 不規則活用の動詞
1 1	Lesson9 Here Comes the Elephant Train! 助動詞
1 2	Lesson10 A Dream Comes True. 過去分詞 受動態
1 3	Lesson11 John Manjiro 英訳のやり方
1 4	終講試験
1 5	DVD 視聴 まとめ
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	ずるいえいご 日本経済新聞出版社 英会話・ぜったい・音読・入門編 講談社
成績評価の方法	筆記試験 (中間試験・終講試験)
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
保健体育		與儀 幸朝 山田 豊裕		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・実技	1 (30)	1 年生教室 サングリーンホール	前期・後期		
実務経験	本科目は、大学での講師としての実務経験と福祉レクリエーションコーディネーターの資格を生かした教員による講義				
学修内容	健康、保健、休養、運動、リラクゼーション、リハビリ、楽しみ				
到達目標	1. 運動の基礎的知識を学び、健康保持及び体力の向上を図る。 2. レクリエーションの意義を理解し、実技を通して援助の方法を学ぶ・				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容	
1・2・3・4	<保健体育>健康の概念 健康の現状とその決定要因 健康と運動 健康と休息	與儀
5	健康と栄養	
6	筋肉と脂肪	
7	実技：ストレッチ&エクササイズ	
8	終講試験	
9	<レクリエーション>レクリエーションの基本理解 演習：アイスブレイキング	山田
10	コミュニケーションゲーム：遊びと生活の再建	
11	看護とレクリエーション 生活のレクリエーション化	
12	レクリエーションの効能 ビデオ視聴 「お年寄りに微笑みを」	
13	ニューススポーツ体験	
14	レクリエーション：実技 ダンス フォークダンス	
15	病院・施設でできるレクリエーション（クラフト） 折り紙あやとり	
16	終講試験	
履修上の要件		
テキスト、教材、 参考書		
成績評価の方法	実技試験 筆記試験	
備考		

授業科目名		担当講師名		対象学年	
社会学		近藤 諭		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (15)	教室	前期		
実務経験	本科目は、大学での実務経験のある教員による講義				
学修内容	社会・地域・職場・集団と個人・存在と役割				
到達目標	社会や家庭の機能について学ぶことで、対象を社会的存在として、家族の中の役割的存在として考えることができる。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	社会学とはどのような学問か
2	社会学の人間観 コミュニケーションと社会
3	コミュニケーションと社会 世帯の現状と社会
4	世帯構造の変化と現代社会の家族
5	ジェンダーと社会
6	社会の中の逸脱 高齢化と社会
7	社会学総復習 これからの日本
8	終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	
成績評価の方法	筆記試験
備考	